

京丹後市の花と木の選定結果

検討委員会

1 選定基準

候補募集時の選定基準に、自生種（野生種）であることを明示した。栽培種だと流行によって姿を消すことがあったからである。久美浜・網野町の花だったチューリップの営農は、平成10年頃に壊滅した。大宮町の百日草も昭和の花で、今ではあまり見かけない。

この「市の花・木」候補募集結果と旧6町の「花・木」を参考にして、京丹後市域の自生種（野生種）の中から選定した。

- 資料 ①京丹後市「市の花」「市の木」候補募集結果一覧表
 ②旧6町の「花」「木」「歌」一覧表
 ③丹後の森林と樹種

2 選定

花3種

フクジュソウ；応募第1位（12），弥栄町の花

トウテイラン；応募第1位（12）

つつじ（ツツジ、ミツバツツジ）；応募第**6**位（**7**）

木2種

ブナ；応募第1位（36）

まつ（マツ、クロマツ、アカマツ）；応募第2位（24）

網野・丹後・弥栄町の木

「花と木」をそれぞれ1種に絞ることは難しかった。それは、京丹後市が沿海と内陸、内陸でも人の手が加わる里山と加わることの少ない山地と、多様な自然環境に恵まれ、植生（生えている植物）も異なるからである。面積が広い京都・福知山市で「花と木」を3～5種設定している例に習って、花3種・木2種とした。

なお、スイセン（応募第**3**位，丹後町の木）も有力候補だったが、同じ沿海地にトウテイランがあるため見送った。